No. 371

英検(2級・準1級・1級) ULTIMATE CHEAT SHEET

英検1級 リーディング超絶チートシート(大問別の解き方・時間配分)

1級のRは「語彙は捨て方、長文は否定と限定の読み方」で決まる。100分の配分、22問の攻め方、言い過ぎの選択肢の見抜き方を1枚に。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 書く→要約→大問1→2→3の順を強く勧める。W 42分を先に
2. 大問1は1問27秒。数問落としても他で取り返せる
3. 長文は not / only / yet の1語で正誤が反転する

◆ 形式と時間配分(R・W 100分)

大問	問題数	目安時間	ペース
1 短文の語句空所補充	22問 (1)〜(22)	10分	1問27秒
2 長文の語句空所補充	6問 (23)〜(28):A・B 各3問	14分	1パッセージ7分
3 長文の内容一致選択	7問 (29)〜(35):A 3問、B 4問	32分	[A]14分／[B]18分
4 英文要約	90〜110語	20分	—
5 英作文(意見論述)	200〜240語	22分	—
見直し	—	2分	語数とマークだけ

1級は「ライティングから」を強く勧める

R・L・Wは各850点で均等。ライティング2題がリーディング35問と同じ満点を持つ。頭が一番元気なうちに**英作文→要約→大問1→大問2→大問3**。開始1分で表紙に終了時刻を書く。10:30開始なら 英作文10:52／要約11:12／大問1 11:22／大問2 11:36／大問3 12:08／見直し12:10。

◆ 大問1(語彙22問):攻めと捨て 5

☐ 1 1問27秒、知らなければ5秒

知っている語は5秒で選ぶ。4つとも知らなければ5秒で勘マーク。数問落としても長文・ライティング次第で取り返せる。ここで粘るとライティングと長文が崩れる。

☐ 2 空所の前後2語の相性

1級でも決め手はコロケーション。動詞＋目的語、形容詞＋名詞として自然かを見る。

> The senator's remarks were widely ＿＿＿ as insensitive. → condemned
> その議員の発言は無神経だと広く非難された

☐ 3 文のプラス・マイナスで2択に

despite / although は「予想に反する」、so / hence は「原因→結果」。意味を知らない語でも、良い意味か悪い意味かが分かれば消せる。

☐ 4 語根で方向をつかむ

1級の語はラテン語系が多い。接頭辞・語根から「外へ」「打ち消し」「悪い」などの方向だけでも決める。

☐ 5 句動詞は粒子で絞る

off＝離す・防ぐ、out＝出す・最後まで、over＝じっくり・覆う。動詞より粒子のイメージで選択肢を絞る。

> She spent the weekend mulling ＿＿＿ the job offer. → over
> 彼女は週末かけて仕事の申し出をじっくり考えた

◆ 語根で割る:1級の語 16

パーツ	意味	例
☐ loqu / locu	話す	eloquent 雄弁な
☐ plac	なだめる	placate なだめる
☐ culp	罪	culpable 責められるべき
☐ grav	重い	aggravate 悪化させる
☐ circum-	周りを	circumvent 回避する
☐ ex- ＋ onus(重荷)	重荷を外す	exonerate 潔白を証明する・責任を免れさせる
☐ equi- ＋ voc	等しく＋声	equivocal どちらとも取れる
☐ pug	戦う	pugnacious けんか好きな
☐ luc / lumin	光	elucidate 解明する
☐ sed	座る	sedentary 座りがちの
☐ ver	真実	veracity 真実性
☐ mor / mort	死	moribund 瀕死の・衰退しかけた
☐ in- / im-	打ち消し	impeccable 欠点のない
☐ -phile / -phobe	好む／恐れる	technophobe 新しい技術を嫌う人
☐ vor	食べる	voracious 貪欲な
☐ nounce	告げる	renounce 放棄する

◆ 1級で狙われる句動詞 16

句動詞	意味	イメージ
☐ fend off	撃退する・かわす	払いのける
☐ churn out	大量に作る	機械のように次々出す
☐ rake in	(大金を)稼ぐ	熊手でかき集める
☐ eke out	(生計を)なんとか立てる	少しずつ引き延ばす
☐ mull over	じっくり考える	何度もかき回す
☐ pore over	熟読する	覆いかぶさって読む
☐ peter out	次第に消える	細くなって終わる
☐ fork out	(しぶしぶ)金を払う	財布から渋々出す
☐ prop up	支える・てこ入れする	つっかい棒を当てる
☐ gloss over	取り繕う・ごまかす	上につやを塗る
☐ rein in	抑制する	手綱を引く
☐ snap up	すぐに買う・飛びつく	パッとつかむ

☐ **bow out**	身を引く	おじぎして退場
☐ **tide A over**	Aに急場をしのがせる	潮に乗せて越えさせる
☐ **scrape by**	なんとか暮らす	ぎりぎりこすって通る
☐ **simmer down**	(怒りが)静まる	沸騰から弱火へ

◆ 大問2(長文の空所):7分で3問 5

① **第1段落で対立軸をつかむ**
従来の説と新しい説、賛成と反対、期待と現実。何と何が対立しているかを先に決める。

② **空所の文の否定・限定に印**
not / hardly / only / rather than / far from を丸で囲む。1級は空所の外の1語で、入る内容の向きが逆になる。

③ **前後の具体例を一言にまとめる**
選択肢は長い抽象表現。空所の前後の具体例を「つまり〜」と一言にまとめ、それに合う選択肢を選ぶ。

④ **つなぎ語は関係を決めてから**
前後を一言ずつにして、逆接・因果・譲歩・追加・言い換えのどれかを決めてから選択肢を見る。

⑤ **入れて段落ごと読み直す**
段落の最後の文と矛盾しないかを確かめる。合わなければ二番手と比べる。

◆ 1級の論理マーカー

準1級の Nevertheless・Consequently の一段上。見落とすと段落の向きを読み違える。

語句	働き	見分け方
Notwithstanding 〜	譲歩	〜にもかかわらず(despite の硬い形)
Be that as it may	譲歩	それはそうだとしても。前を認めて反論へ
Granted, 〜	譲歩	確かに〜。後ろで but / yet / still などの反論が続くことが多い
By the same token	同様	同じ理由で。前と同じ論理を別の例に
Insofar as 〜	限定	〜する限りにおいて。主張の範囲をしぼる
Far from 〜	否定	決して〜でない・〜どころか。後ろに逆の事実が続くことが多い
Albeit 〜	譲歩	〜ではあるが(albeit slowly のように句で)
Paradoxically	逆説	常識と逆の結果が来る合図
Not so much A as B	対比	Aというよりむしろ B。重点は B 側(A を全否定とは限らない)

◆ 大問3(内容一致)の鉄則 5

☐ **1 設問→段落の順**
設問1つを読み、該当しそうな段落を読む。A(3問)・B(4問)とも、段落の順に設問が並ぶのが基本。

☐ **2 誰の主張かを区別する**
筆者・研究者・批判者・当時の人々の考えが混ざる。critics / proponents / at the time の後で、誰の考えかに印をつける。

☐ **3 時間の軸に注意**
1級の長文は「かつての説→今の評価」の流れが多い。was once believed / has since been の前後で、どの時点の話かを取り違えない。

☐ **4 推論問題は1歩だけ**
What can be inferred / suggested は、本文から1歩だけ進めた内容が答え。2歩以上飛躍した選択肢、本文に無い評価が入った選択肢は消す。

☐ **5 確かさの度合いを比べる**
本文の may / suggest / some が、選択肢で prove / always / most に強められていたら誤り。動詞と数量の語を必ず照合する。

◆ 言い換え変換表:1級の長文 12

本文	選択肢の言い方	意味
☐ **was met with skepticism**	people doubted it	疑いの目で見られた
☐ **fell out of favor**	became less popular	支持を失った
☐ **has yet to be proven**	remains unconfirmed	まだ証明されていない
☐ **conventional wisdom held that**	it was widely believed that	通説では〜だった
☐ **challenges the notion that**	casts doubt on the idea that	〜という考えに疑問を投げる
☐ **is not without its critics**	some people criticize it	批判する人もいる
☐ **paved the way for**	made it possible for	〜への道を開いた
☐ **is at odds with**	is inconsistent with	〜と食い違う
☐ **was instrumental in**	played a key role in	〜で重要な役割を果たした
☐ **to no avail**	without success	無駄に終わった
☐ **the jury is still out**	no conclusion has been reached	まだ結論が出ていない
☐ **a far cry from**	very different from	〜とは大違い

1級の正誤は「1語」で反転する
準1級までは「本文の具体→選択肢の抽象」を見抜けば取れた。1級はさらに、**否定・限定・時制の1語**で選択肢の正誤がひっくり返る。has yet to be(まだ〜ない)、is not without(〜がないわけではない=ある)、only after(〜して初めて)。**本文と選択肢の両方で、not・only・yet・once に丸をつける** だけで、取りこぼしが減る。

◆ 誤答の作られ方(大問3) 6

☐ ✕ ~~本文の suggest を prove と言い切った選択肢~~
○ **確かさの度合いまで一致する選択肢**
言い過ぎは1級の誤答の最多パターン

☐ ✕ ~~かつての説を今の結論として選ぶ~~
○ **現在の評価が書かれた箇所で照合**
時間の軸をずらして作る

☐ ✕ ~~批判者の意見を筆者の主張として選ぶ~~
○ **主語で誰の考えかを確かめる**
意見の持ち主のすり替え

☐ ✕ ~~A が B の原因と読む(本文は同時に起きただけ)~~
○ **led to / because を本文で確認**
本文に無い因果を足すのが典型

☐ ✕ ~~is not without critics を「批判はない」と読む~~
○ **二重否定は肯定に直して読む**
否定の読み違いを狙う

☐ ✕ ~~本文の難語がそのまま入った選択肢を選ぶ~~
○ **言い換えられた選択肢を優先**
語の一致は内容の一致ではない

なぜ論理マーカーに印をつける？
文章のまとまりは、接続語などの「つなぎの手がかり（結束性）」によって支えられている（Halliday & Hasan 1976）。1級の長文は1文が長く、内容だけ追うと向きを見失う。Granted / Far from / Paradoxically に印をつけると、段落の論理の地図が手に入る。

◆ 確認テスト

1 The company managed to ＿＿ off the hostile takeover attempt.
a fend　b rake　c churn　d eke

2 He could barely ＿＿ out a living as a street musician.
a peter　b eke　c fork　d snap

3 The theory is not without its critics. の意味は？
a 批判する人もいる　b 批判する人はいない
c 批判者が理論を作った　d 批判は理論的でない

4 本文 The claim has yet to be proven. に合う選択肢は？
a The claim has been proven.　b The claim is widely accepted.
c The claim was rejected.　d The claim remains unconfirmed.

5 Not so much A as B で、より強調される側は？
a B　b A　c AとBの両方　d どちらでもない

◆ 1級の語彙と長文を仕上げる

2

英検第1問直前ドリルくん
英検の大問1（語彙）を本番そっくり10回分。
haradaeigo.com/eiken-dai1mon/

英検10日合格くん
受験日から逆算して、毎日の分量を示す対策アプリ。
haradaeigo.com/eiken-10days/

◆ 解答

1 fend　fend off＝撃退する
2 eke　eke out a living＝なんとか生計を立てる
3 批判する人もいる　二重否定＝肯定
4 The claim remains unconfirmed.　has yet to＝まだ～していない
5 B　Aというよりむしろ B。重点はB

参考資料 日本英語検定協会：1級 試験内容／日本英語検定協会：英検CSEスコアとは

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）